



# 小田原・平塚正教会だより

2016年12月号

2016年12月1日発行 第172号

司祭 デイミトリイ 田中 仁一

〒250-0011 神奈川県小田原市栄町四丁目 4-1

TEL/FAX : 0465-22-2792 携帯 070-5079-3408

E-mail: [holyspiritodawara@gmail.com](mailto:holyspiritodawara@gmail.com)

日本ハリストス正教会教団 HP: <http://www.orthodoxjapan.jp/>

郵便振替口座: 00270-6-15226



## ● 五旬祭後第24主日聖体礼儀・月例パニヒダ

12月4日(日) 10:00～ (9:30 痛悔)

第7調 エフェス2:14-22 ルカ12:16-21



## 🔔 平塚教会 降誕祭聖体礼儀・祝賀会 詳細はP6をご覧ください。

12月23日(祝) 10:00～ (9:30 痛悔)

## 🔔 降誕祭 晩堂大課・早課・一時課

12月24日(日) 17:00～

祭日調 マトフェイ1:18-25

12/11 代式祈祷後は降誕祭前聖堂おみがきを行います。ご協力お願いいたします。

## 🔔 降誕祭 聖体礼儀・祝賀会 詳細はP6をご覧ください。

12月25日(日) 10:00～ (9:30 痛悔)

祭日調 ガラティヤ4:4-7 マトフェイ2:1-12

キッズタイムがあるよ!



しゅ なんじ たみ すく なんじ ぎょう ふく くだ  
「主よ、爾の民を救い、爾の業に福を降せ。」

第二アンティフォン祝文

### 聖体礼儀解説(14)

私たちは、聖なる洗礼によって神の子となりました。それはただ単に、私たちが罪から解かれたことを意味するだけに止まりません。(2ページへ続く)



# 聖体礼儀解説(14)

## ～神の嗣よつぎとなる～

(表紙の続き)

…私たちは聖なる洗礼によって、限りない富をも獲ました。

私たちはこれまで凶悪なる者の虜とりこでした。しかし、いま私たちは『自由なる教会の民です』。聖金ロイオアンはこのように言います。『かつて、私たちは罪はずかしの辱めの中にありましたが、今私たちは、神の前に勇いさみを得、義とされたのです。私たちは単に自由になっただけでなく、聖なる者となりました。さらに義なる者にもなりました。それだけにとどまらず、神の子にもなりました。いえ、それだけにとどまらず、神よつぎの嗣よつぎとなったのです。いえいえ、それだけにとどまらず、ハリストスの兄弟となったのです』。

聖体礼儀が執り行われるとき、私たちは聖堂に集まります。そこには多くの兄弟姉妹がいて、聖神りんざいが臨在し、そして私たちの間には、イイスス・ハリストスと父なる神がいるのです。聖金ロイオアンのことばを借りるならば、私たちが聖体礼儀において、聖なる宝座の前に立つとき、私たちは『喜

びをもって、私たちが光の中に聖人の業ぎようを継ぐものと為らしめ賜いし神・父に感謝するのです』。



ところが、私たちは単にハリストスを受け継ぐ者となっただけではありません。聖体礼儀によって、ハリストスご自身が私たち信者全員の遺産となったのです。

『そのとき、上にあつて父と共に座する者は、その手に万物を抱く』。

『人を愛する神は、神を求め、神に趨り付く者に其の業を為す。そのとき、神自らが霊を受け継ぐ者となり、霊が主を受け継ぐ者となる』。

私たちは主ハリストスによって、彼の父を「我らの父」と呼び、父なる神は私たち遺産を受け継ぐ者が呼び求めるとき、福を降してくださいます。

### 天主経

てん いま われら ちち  
天に在す我等の父や。  
ねがはく なんぢ な せい  
願は爾の名は聖とせられ。  
なんぢ くに きた  
爾の國は來り。  
なんぢ むね てん おこな ごと  
爾の旨は天に行はるるが如く、  
ち おこな  
地にも行はれん。  
わ にちよう かに こんにちわれら あた たま  
我が日用の糧を今日我等に與へ給へ。  
われら おひめ もの われらゆる ごと  
我等に債ある者を我等免すが如く、  
われら おひめ ゆる たま  
我等の債を免し給へ。  
われら いざなひ みちび  
我等を誘に導かず、  
なほわれら きようあく すく たま  
猶我等を凶悪より救ひ給へ。



## 最近の出来事・消息

**小田原** ボランティアデー 11月3日(祝)、ボランティアデーが開催され、24名が集まりました。今年もニーコン廣石五郎兄より約 100 株の花の苗のご協力を賜りました。またドロゴワ姉よりユリの球根を賜りました。10月30日に、当日作業しやすいよう準備をしました。続いて11月1日に木を剪定しました。当日は作業開始に先立ち、祈禱を行いました。曇り空の下、作業の前半は、草を抜いて土を耕しました。天気もどんどん良くなり、苗や球根を植え始めた 10 時ごろには青空がのぞきはじめました。たくさんの花の苗と球根を植え、ちょうど昼食の時間になりました。昼食にはミハイル神谷忠明執事長と奥様のタイシャ多津恵姉からの差し入れと、婦人会が前日から準備してくださったカレーライスを昼食までのこった参加者で頂きました。午後から用事があってやむを得ず昼食前でお帰りになる参加者には、お持ち帰りいただける唐揚げなどをお渡ししました。草花に関する知識を持っている兄弟姉妹も多く、互いに学び合い、充実したようよう感じました。参加してくださった方々に心より感謝申し上げます。(裏表紙のフォトレポートをご覧ください。)



**五旬祭後第 20 主日・こども成長感謝祈禱** 11月1日

(日)、10 時より、五旬祭後第 20 主日聖体礼儀が行われました。続いて月例パニヒダを行いました。こども感謝祈禱には佐藤家のレオニディ頼逢君・ガヴリイラ麻海ちゃんと、新坂家のマリーナ実侑ちゃん・祐月君、そして小口家のアレクシイ慈真君とパンテレイモン惺慈君の 6 名が感謝祈禱に参拝し、神父から祝福を受けました。聖所の中央には年々しっかりとする一人一人の姿がありました。感謝祈禱では今日までの成長への感謝と神の恩寵を賜ることを祈願しました。神父からは大天使ミハイルまたは解繁者聖アナスタシアのイコンとお菓子のプレゼントがありました。若い人たちが神様ご祝福された道を歩み続けることができますように！



**柏久保** 次回の集会は 12 月 10 日(土)に行います。皆さまのご体調が守られますことをお祈り致します。

**静岡** 聖歌練習 11月6日(日)聖歌練習を行いました。2月19日に成聖式を控え、当日の聖歌譜が整い、聖歌を担当する信徒が本格的に練習開始しました。建てた教会のための祈禱も静岡の信徒で行ってほしい、という神父の思いも強く、負担は大きいものと感じますが、みな 1 時間半があつという間と感じるほどの集中力でした。11月27日には当日指揮をしてくださる聖歌者リュボフ田中姉(横浜)が聖歌研修会のために来会し合わせて成聖式聖歌の指導をしてく

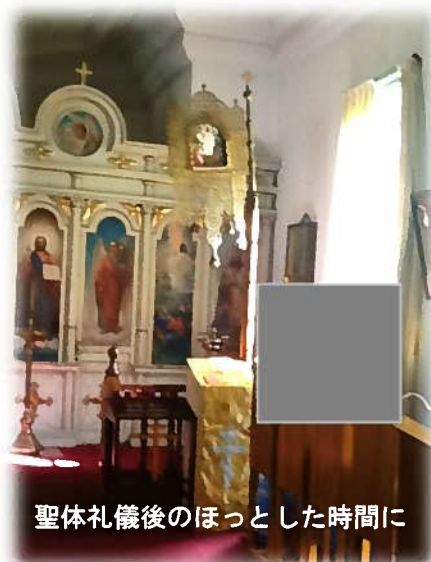
ださいます。その前にもう少し練習したい、そのような気持ちから、11月20日(日)も9時30分から2時間の聖歌練習を行いました。



**新聖堂建設進捗状況** 今月第二週、緑青色の屋根に、十字架とクーポル(屋根の上の十字架の台座となる球状の屋根)が付きました。また鐘楼には鐘が3つ設置されました。この十字架とクーポルと鐘は旧聖堂のものを保存しておいたものです。まだ外壁下の白い断熱材が見えるため、遠目で見ると、まるで旧聖堂が再び建ちあがったように見えますが、今後は信徒会館の外観の雰囲気を受け継いで外壁に木板が施されます。至聖所

には純白の美しいアプス(至聖所奥の半円状の空間)ができました。成聖式のためには、教区内各教会の神父様と教会代表者様宛にご案内が発送されました。また当日の具体的なスケジュールや役割分担などを詰めています。

**修善寺 聖体礼儀・墓地祈祷** 11月13日(日)、主日聖体礼儀を行いました。この日の朝、ディアナ号(1854年に起きたM8級の東南海地震で津波の被害を受けたロシア船)を再建する夢をもっている、戸田の大工、山口さんはじめ有志数名が拝観のために来会しました。御一行は伊豆のナマコ壁で知られている松崎町の左官職人が施したブドウの装飾などに大変関心をしておられました。聖体礼儀後には信徒会館で、昼食を交えて連絡事項が告げられ、その後司祭が訪問したギリシャの修道院や教会の画像を、説明を受けながら鑑賞しました。



聖体礼儀後のほっとした時間に

**平塚 定例地区集会** 11月5日(土)10時より、重田仁兄・博兄のお宅を開放していただいて行いました。この日は降誕祭を迎えるにあたって、聖歌練習をしました。聖歌練習といってもただ歌うだけでなく、聖歌の意味など知る学びの時でもありました。後半はギリシャから帰国して間もない神父から、滞在したサモス島の修道院や、アテネにある神父の教会や近隣教会の話、画像を見ながら聞きました。ご多忙の中、この日のためにお茶菓子を用意してくださった貴子姉に、感謝いたします。





## 12月の永眠者一覧(敬省略)

永眠日	聖名	氏名	永眠年	縁故者
1日	ロマン	竹林 喬	1982年	竹林 多恵子
1日	ラザリ	樋口(童子)	1918年	樋口 邦利
1日	イリヤ	澁谷 隆文	2007年	澁谷 道子
2日	マリヤ	青柳 良恵	2007年	横田 祥子
4日	タラシイ	百瀬 宏	2003年	百瀬 久
4日	ワシリイ	廣石 秀雄	2003年	廣石 利恵
6日	ウエラ	小杉 美代	1893年	小杉 英男
7日	ミヘイ	長澤 吉五郎	1924年	
8日	シメオン	上野 令次	1983年	上野 攻
10日		上野 暎子	1979年	上野 攻
13日	イシドル	小杉 雅男	1971年	小杉 英男
13日	ダミアン	石川 忠義	1991年	石田 浩一
16日	マルファ	神谷 秀子	1981年	神谷 江津子
16日	マルティニアン	石川 福一	1934年	石田 浩一
17日	ニキタ	渡辺 正雄	1999年	渡辺 宏
21日	マリヤ	渡辺 カネ	1954年	渡辺 宏
23日	クリメント	吉崎 辰昭	1995年	野村 秀男
24日	マリヤ	元松 喜久	1981年	坂牟田 晃一
25日	アンナ	神谷 トク	1917年	神谷 淳一
27日	エウドキヤ	中根 きみ	1979年	
30日	イアコフ	神谷 虎吉	1960年	神谷 武夫
31日	輔祭ニーコン	松田 保治	1925年	

小田原正教会では毎月第3週(原則)に永眠者の記憶を祈る「パニヒダ」を行っていますが、**今月は第1日曜日に行います。**聖堂は皆さんのお祈りの場、そして皆さんのたましい霊が永遠に養われる場です。ローソクを灯して少しの間、ご家族のために祈りに来られるだけでも大変結構です。どうぞ遠慮なさらずお越してください。(月例パニヒダの日は必ず会報をご確認ください。)



### —降誕祭献金のお願い—

降誕祭に際し、今月号には献金袋を同封いたしました。教会は皆様からの献金によって支えられています。今後も永眠された人々の霊のため、私たち生きている人々の霊のために、教会が存続されますよう、ご協力をお願いいたします。





## 小田原ハリストス正教会降誕祭

- 前晩祷 12月24日(土)17:00～19:00
- 聖体礼儀 12月25日(日)10:00～11:45
- 祝賀会 12月25日(日)聖体礼儀後 会費 500円(大人)

※交換用の500円程度のプレゼントをご持参下さい。

☆こどもイベント クリスマスのかざりを作ろう! (予定)

プレゼントと聖書クイズがあるよ!

12月25日(日) 聖体礼儀後 信徒会館にて

### 2017年

## 新年感謝祈禱

1月1日(日)11時～  
小田原教会聖堂にて

年の初めは感謝の祈りで



ご祈禱後には、  
お汁粉を振舞います。  
(年越聖体礼儀は 12/31  
午後11時頃から開始。)



## 平塚ハリストス正教会 降誕祭聖体礼儀・祝賀会

日時: 12月23日(祝)  
10:00-14:00

場所: アキラ重田明兄宅

小田原教会の方の参拝も大歓迎です! 特に平塚市内在住の方、是非ご参拝ください。参加ご希望の方は12/21までに教会又は管轄司祭まで。

### 献金報告

11/20 現在 日付は会計処理日です。ありがとうございました

日付	氏名	摘要
10/23	廣石 清子姉	パニヒダ献金
	廣石 由美子様	パニヒダ献金
	吉崎 恵姉	病者平癒献金
11/6	新坂 真理姉	感謝献金
	小口寿造兄・妙子姉	感謝献金
	佐藤 希恵姉	感謝献金
11/13	菊池 ロクサーナ姉	パニヒダ献金

婦人会献金:

日付	氏名	摘要
11/3	廣石 清子姉	パニヒダ献金
	渡辺 和枝姉	感謝献金

## イエルサリムの克肖者聖神父サワ

記憶日12月18日/12月5日(新暦)

6世紀、現在トルコ領となっているカッパドキア郊外ムタラスカ地方のとある農村に、キリスト教会の巨星、聖サワは生まれた。彼はわずか8歳で両親であるイオアンとソフィアのもとを離れ、近くにあるフラビアン修道院に入って修道士となった。それから10年後、彼はパレスチナにある修道院に移った。そのエウシミナス修道院にはセオクテイトスとエウシミナスという名で未来を知ることができる賜物を神より受けた修道士がいて、彼らは聖サワが将来、修道士たちのリーダーとなり名を遺すであろう、さらに彼はこれまでにない大きな修道院を建てるであろうと預言した。

エウシミナスの永眠後、聖サワは荒野へ出た。5年間、洞穴で寝食をし、天使が頻繁に顕れたという。こうして修道を極めた聖サワには神による聖性が伴い、そこに霊的な渴きをもった人々が集まるようになった。それは間もなく大勢となったので、聖サワは聖堂と彼らが休むたくさんの居室を作らなければならなかった。その中にはアルメニア人もいたので、聖サワはアルメニア人のためにも居住する洞穴を提供し、彼らもそこを使ってアルメニア語での祈禱を行った。聖サワの父が永眠すると母ソフィアは修道女となった。聖サワは母のためにも、修道院から少し離れたところに居室を作った。母はそこで永眠するまで修道した。

この聖なる神父も多くの異教者や悪魔の攻撃に直面した。悪魔は彼の近くに来られる人を使って聖サワに近づいた。聖サワは次の方法で彼らに対抗した。それは良い志と忍耐である。異端者に対しては揺るぎない正教の信仰の表明を、悪魔に対しては十字架の印と神の援けを求めることで立ち向かった。特にカステリウム山での悪魔との戦いは特に厳しかった。そこは彼が建てた七つの修道院のうち、二番目に建てられた修道院があるところである。

聖サワと彼と親しかった聖大セオドシオスは東方正教会の光であり柱とされている。彼らによって、諸王と諸教区に正しい信仰がもたらされ、神による聖なる強さと彼らが示した謙遜によって、人々に仕え合う心が伝わった。聖サワは生涯の偉大な働きとその実りを生んだのち、94歳で体を休めて永眠した。西暦532年のことだった。彼が残した業のひとつに、修道院で使用される最初の祈禱式次第となった、イエルサリム ティピコンがある。



### トロパリ 第8調

涙の雨をもって爾は砂漠<sup>ひよく</sup>を肥沃にし

爾の神への望は数多<sup>あまた</sup>の実<sup>あらか</sup>となって顕れたり

奇跡の光によって全世界を照らしたまえ

我らの神父聖サワよ、

我らの霊の救われんことを神救主<sup>かみきゆうしゅ</sup>に祈りたまえ

10月31日（土）ボランティアデーとして境内地美化活動を行いました。荒れていた花壇は参加者の皆さんの力で大変身。神様と街の人に愛される教会の庭づくりができました。



# フォトレポート

## ボランティアデー

作業の間、通りかかる方が、豊かに実ったかりんや植えられる時を待つ花の苗を見て、笑顔をこぼしていました。

花をご用意くださった方々、お昼の準備を下された婦人会の皆さん、たくさんの差し入れをしてくださった執事長さんご夫妻、境内を花でたくさんにしてくださった参加者に、そしてやむを得ず来ることができず、お祈り下さった信徒兄弟姉妹の皆様に神様の祝福がありますように！





## 【2016年12月】小田原・平塚ハリストス正教会月間活動予定表

日	曜日	祈祷・行事・集会	堂役	主日調/聖書の読み
1	木	[東京 神学校]		
2	金			
3	土	主日晚課・執事定例連絡会(17:00)		12/4 第七調
4	日	五旬祭後第24主日聖体礼儀・月例パニヒダ(10:00)・聖歌練習 <small>生神女進堂祭(十二大祭)</small>	神谷(幸)	使徒経:エフェ2:14-22 福音経:ルカ12:16-21
5	月			●婦人会昼食当番
6	火			皆で協力して行いましょう
7	水			
8	木	[東京 神学校]		●
9	金	[柏久保/修善寺]		糖飯当番:廣石利恵姉
10	土	[柏久保]		12/11 第八調
11	日	五旬祭後第25主日:聖携香女の主日(10:00)・降誕祭前聖堂おみがき[修善寺]	山口(幸)	使徒経:エフェ4:1-6 福音経:ルカ13:10-17
12	月	[柏久保/修善寺]		●婦人会昼食当番
13	火			皆で協力して行いましょう
14	水			
15	木	[東京 神学校]		
16	金			
17	土	[静岡]		12/18 第一調
18	日	五旬祭後第26主日(10:00)・会館降誕祭前準備[静岡]	山口(幸)	使徒経:エフェ5:8-19 福音経:ルカ17:12-19
19	月	[静岡]		●婦人会昼食当番
20	火			皆で協力して行いましょう
21	水			
22	木	[東京 神学校]		
23	金	平塚教会 降誕祭聖体礼儀・祝賀会(10:00) <small>天皇誕生日</small>		
24	土	降誕祭晩堂大課・早課・一時課(17:00)		12/25 祭日調
25	日	降誕祭主日聖体礼儀・祝賀会(10:00)	神谷(幸)	使徒経:ガラ4:4-7 福音経:ルカ2:1-12
26	月			●婦人会昼食当番
27	火			皆で協力して行いましょう
28	水			
29	木			
30	金			
31	土	新年聖体礼儀(23:00)・会館・駐車場清掃 [静岡]		

[        ]内は司祭の活動

\* 聖体礼儀に参拝し領聖するときは、前日から十分に節制しましょう \*

\* ここには主日の聖書の読みが記載されています。お手持ちの聖書を読むときに活用して下さい。 \*

## 【2016年12月】小田原・平塚ハリストス正教会月間活動予定表

日	曜日	祈祷・行事・集会	堂役	主日調/聖書の読み
1	木	[東京 神学校]		
2	金			
3	土	主日晚課・執事定例連絡会(17:00)		12/4 第七調
4	日	五旬祭後第24主日聖体礼儀・月例パニヒダ(10:00)・聖歌練習 <small>生神女進堂祭(十二大祭)</small>	神谷(幸)	使徒経:エフェ2:14-22 福音経:ルカ12:16-21
5	月	[静岡]		●婦人会昼食当番
6	火	[静岡]		
7	水			皆で協力して行いましょう
8	木	[東京 神学校]		●
9	金	[柏久保/修善寺]		糖飯当番:廣石利恵姉
10	土	[柏久保]		12/11 第八調
11	日	五旬祭後第25主日:聖携香女の主日(10:00)・降誕祭前聖堂おみがき[修善寺]	山口(幸)	使徒経:エフェ4:1-6 福音経:ルカ13:10-17
12	月	[柏久保/修善寺]		●婦人会昼食当番
13	火	[東京]		
14	水	[東京]		皆で協力して行いましょう
15	木	[東京 神学校]		
16	金	[東京]		
17	土	[静岡]		12/18 第一調
18	日	五旬祭後第26主日(10:00)・会館降誕祭前準備[静岡]	山口(幸)	使徒経:エフェ5:8-19 福音経:ルカ17:12-19
19	月	[東京]		●婦人会昼食当番
20	火	[東京 神学校]		
21	水			皆で協力して行いましょう
22	木			
23	金	平塚教会 降誕祭聖体礼儀・祝賀会(10:00) <small>天皇誕生日</small>		
24	土	降誕祭晩堂大課・早課・一時課(17:00)		12/25 祭日調
25	日	降誕祭主日聖体礼儀・祝賀会(10:00)	神谷(幸)	使徒経:ガラ4:4-7 福音経:ルカ2:1-12
26	月			●婦人会昼食当番
27	火			
28	水	[廻家]		皆で協力して行いましょう
29	木	[廻家]		
30	金			
31	土	新年聖体礼儀(23:00)・会館・駐車場清掃 [静岡]		

[        ]内は司祭の活動

\* 聖体礼儀に参拝し領聖するときは、前日から十分に節制しましょう \*

\* ここには主日の聖書の読みが記載されています。お手持ちの聖書を読むときに活用して下さい。 \*